

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり (12) (社)世界福音化伝道協会 www. weea. kr		
2025 年 3 月 22 日 週間祈りカード		
△産業宣教 金土日時代のやぐら 8 金土日時代と産業人重職者(証人)(創 22:1-21、使 1:1-8)	△ART と TCK 伝道学/三つの庭のモデル 8 ー三つの庭の基本始まり(使 17:1, 18:4, 19:8)	△核心 神様とともに始める(創 12:1-3)
どのように世界福音化をすることができるのか。ここに契約で答えを先に出してこそ、働きが起こる。産業人重職者は金土日時代に証人として証しすることが必要だ。それなら、どんな答えを受ければ良いのか。 □序論_ 300% 皆さんが持っている力では世界福音化はできない。 1. 300%の実際の本質を分かなければならない。 1) 聖霊に満たされてこそ、私だけ生かすのではなく現場を生かして未来を生かす。 2) 7・7・7 7 やぐらがあなたの中に。それを持って 7 旅程を行きなさい。御座で働くから 7 道しるべを建てなさい。 3) 伝道、宣教はするのではなくて、見ること 2. これに対する実際の三つのことがある。 1) 問題を正確に分かれれば答えが出てくる。 2) 本当に葛藤が何か分かれば更新が起きる。 3) 本当に危機にあって、それをよく分かれば無条件に機会が来る。 3. 聖書にある証拠を握れば良い。 1) アブラハム「あなたの土地、親族、父の家、財産をみな捨てて出て来なさい。そして、すべての民が祝福を受ける」これが話になる日、働きが起きた。 2) ヨケベデが絶対契約 300%を握ったのだ。 3) 初代教会 法律でみな防いだが、オリブ山で与えられた契約と奥義は地の果てまで行くことができたと悟った。 □本論_すると三か所の証人が出てくる。 1. 癒やしの証人 1) 強大国 癒やしの証人 2) 237 強大国ごとに送られた理由は 237 か国を癒やしなさいと。 3) 5000 種族癒やしはレムナントのほかにはできないためだ。 2. サミットの証人-レムナントをサミットにしなければならない。 1) RT 金土日時代に福音を持っている次世代を育てるのだ。 2) TCK、CGK、NCK を無条件サミットにしないさい。 3) このレムナントたちが王の前に立った。これがサミットだ。 ○必ず 無条件に 300%しなさい。私が必ずすべきこと、その現場で必ず必要なこと、これから必ず必要なことを質問すれば良い。 3. 礼拝の証人-三つの流れ 1) 契約の流れ 神様の契約の流れ、この時代の流れ、教会に与えられる流れ、私に与えられる流れがある。 2) 祈りの流れ 答えの流れがある。 3) 伝道の流れ 今も救いの働きは起きている。 □結論_ 300%すべき理由 時代ごとに神様が皆さんのような人を立ててわざわざいを止められた。「地の果てまでわたしの証人になります」	△ミッションを正確に握るために最も<u>近いところ</u>から始めれば良い。これを<u>遠く</u>まで見るのだ。ある面では未来まで見るが、これを<u>永遠</u>のことにまでつなげるのだ。 1. 創 37:1-11 兄たちがとても苦しめたので、することは祈りしかなかった。それから始まり、世界福音化したのだ。 2. 出 2:1-10 ヨケベデは最も可能性があることを見た。モーセは王宮に入って世界を動かすことになった。ミッションを見つけて味わうことが 237 へ行く三つの庭だ。 3. 1 サム 3:1-9 契約の箱のそばにすることが大変だったが、祈りの中で働きを見たのだ。「サムエルのことは、一言も地に落とされなかった」 4. 1 サム 16:1-13 サムエルはダビデに正確なミッションを与えた。「この日以来、主の霊が激しく下った」 5. Ⅱ列 2:9-11 エリシャはエリコ、ベテル、ギルガルが問題ではなくてエリヤの霊の 2 倍を与えてくださいと言った。 6. ダニ 1:8-9 ダニエルはイザヤ預言者の預言を心に抱いて、イスラエルが捕虜になった理由も知っていたので、心を定めた。暗闇文化にだまされないで、そこで証人になるのだ。 7. キリスト キリストの中に当然性、必然性、絶対性がある。 祈り(礼拝) 17:1 祈りが何か正しく知らせるべきだ。 御座、神の国、神の国のこと 18:4、19:8 御座、神の国と神の国のことが答えだ。	△私たちが正しく用いられようとするなら、私の考えよりはほかの人のこと、私のことよりほかの人のこと、私の味方よりほかの人の側をさらに重要だと考えなければならない。なぜなら、私たちは<u>神様とともに始める</u>からだ。 □序論_必ず準備しなければならないこと 1. キリストが与えられたこと ○<u>集中、セッティング、答え</u>に集中しなさい。あれこれ状況、あれこれ人を全部合わせて神様の計画が成し遂げられる。キリストが与えられたことで 24 祈りで幸せで、力を味わわなければならない。すると 25 が来て、永遠が残るようになる。 1) 7 やぐらが私に臨むのにどれくらい幸せな時間なのか。 2) 7 旅程に行くのにどれくらい力がある時間なのか。 3) 7 道しるべを味わうのに、どれくらい祝福された力の時間なのか。 ほかの人が来るしかない証拠が出てくるのが<u>プラットフォーム</u>だ。光が放たれるのが<u>見張り台</u>。御座と通じることが<u>アンテナ</u>だ。 2. 答え <u>WITH</u> 神様が私とともにおられることを味わって <u>Immanuel</u> 私たちとともに。私たちの教会にインマヌエルで働かれる。 <u>Oneness</u> すべてが合わさって答えが起きる。 <u>WIOS</u> ウイズ、インマヌエル、ワンネスのシステムが作られる。 3. 仕事、職業に <u>Only</u> ただが来てしまう。 <u>Uniqueness</u> ほかの人が知るようになる唯一性が与えられる。 <u>Re-creation</u> いよいよ再創造が起こる。 <u>OURS</u> ただ、唯一性、再創造のシステムが作られる。 □本論_ 99.9% 1. この祝福を味わっていれば、私の考え、私の基準は必要ない。 創 3:4-5 に陥ってしまう。 2. 私のこと(創 6:4-5)で基準にすればネフィリムになる。 3. 私の味方(創 11:1-8)思い切りしたのが私の味方。バベルの塔に属して崩れるのだ。 創 3:15 それゆえ、一気にたたき壊したのだ。「女の子孫が蛇の頭を打つ」 創 6:14、18、20 箱舟の中に入りなさい。あなたとあなたの次世代、いのちを保存するために箱舟を作りなさい。 創 12:1-3 「わたしがあなたに示す地に行きなさい」みことばしたがって行きなさい。「祝福の根源にする。あなたに立ちはだかる者はないようにする。あなたの子孫によって国々が祝福を受けるようにする」このように約束された。 私たちがする重要な三つのこと <u>聖霊の導き</u>が起きる時まで力と幸せを味わって待ちなさい。ネフィリムを倒す<u>聖霊の働き</u>を見なさい。残すことが永遠になるように、<u>聖霊の実</u>を結びなさい。このとおりに答えられれば良い。

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり (12) (社)世界福音化伝道協会 www.weea.kr		
2025 年 3 月 23 日 週間祈りカード		
△区域メッセージ第 12 週 ピリポ・カイサリア-祈りの力の中から出てくる伝道運動 - 博愛主義とキリスト(マタ 16:14)	△聖日 1 部 永遠の祭りの始まり(出 23:14-19)	△聖日 2 部 荒野で最も難しい祝福(出 25:1-9)
□序論 ものすごい力を持っている主の^{やぐら}(御座のやぐら)、御座の^{旅程}、御座の^{道しるべ}が^{祈り} 300%である。その中で事件が起きて、結局、世界福音化のことが成し遂げられた。それゆえ、この祈りの中に入りなさい。祈るとき、とても^{幸せ}でなければならない。祈る時間を通して^力を味わわなければならない。実際に、落胆すれば病気になる、この力を味わえば力が生じる。 祈りの力の中から出てくる伝道運動 祈りの力の中からすべてのことをみなするが、この中から出てくる伝道は違う。祈りの中で出会うのだ。パウロは祈り場があるかと思うとき、リディアに会うようになった。すべての生活がこの力の中から出て来るのだ。 ピリポ・カイサリア-カエサル皇帝とピリポ王の名前を合わせた言葉だ。 博愛主義とキリスト-人間性が良い博愛主義は、だれでもすることができる。博愛主義を活用してほかのことを狙うのは本当に悪いのだ。本質に対してベテロが告白した。「あなたは生ける神の子キリストです」 □本論 1. エレミヤ(人) 1) エレ 33:1-9 神様は理解を超えた大いなることを私たちに教えてくださる。 2) 哀 4:1-5 神様の契約を預言したエレミヤ-私たちもこの答えを受けすることができる。 2. キリスト 1) 岩 揺れない岩の上にわたしの教会を建てる。 2) わたしの教会 神様が建てられる教会-その祝福の中に私がいる。 3) 権威 暗闇の権威があなたに打ち勝つことができない。 3. 預言(教え) ^{マルコの屋上の部屋(タラツパン)} 完全なただ、唯一性、再創造の答えが出れば伝道は成される。 ^{チームの働き} 止めることができない出会い ^{ミッションホーム} 家庭に帰って次世代を生かす。 ^{専門教会} 学業と産業が生かされる。^{地教会} 人々が集まる伝道 □結論 1. 公生涯-オリーブ山に呼んで聖霊の満たしを与えると約束された。300%でなければ世界福音化することはできない。 2. オリーブ山-御座、神の国、神の国のことを説明されたのが祈りだ。 3. マルコ(三つの祭り)-マルコの屋上の部屋で三つの祭りを味わった 4. 使 2:42 -マルコの屋上の部屋で祈って礼拝が成功できたのだ。礼拝の中ですべての答えがみな出てそれなければならない。 5. 使 2:46-47 -「毎日宮で、毎日家で」みことばが成就する。この中で一生の祈りの課題が出て来るようになる。 6. 定刻祈り-すべての教会信徒がともに祈り 7. 24、25、永遠 -初代教会にあったスケジュール	□序論_先に受けるべき答え 1. 荒野の道-大変な道 1) 奴隷根性 2) 病の確率が高いところ 3) 衝撃になることが多くて苦しい-トラウマ 4) 未来が不安 5) 衣食住問題 6) 敵の攻撃 7) 不信仰 2. 毎年三回ずつ祭りを守りなさい-刻印、根、体質 1) 解放されて出た種を入れないパンの祭り 2) 神様の力を味わった初穂の刈り入れの祭り(五旬節) 3) 私たちの背景はだれよりも大きいという事実を味わうようにさせた仮庵祭 3. 先に受けるべき答え-あらゆる事を左右する二つのことを荒野で変えること 1) Tacit Power 目に見えない力(ヘブ 11:1) -実像をのがして虚像を握っているので証人になれない 2) Priority 先に入ったこと △これをしなければ答え、みことば成就がない。死んだのと同じだ。教会がなくなる。 □本論_荒野で与えられたこと 1. 運命をひっくり返す祈りの契約 1) 種を入れないパンの祭り(過越祭) -羊の血を塗る日抜け出した。暗闇から出なければならない。 2) ヨハ 8:32、ロマ 8:2、ヘブ 4:12 真理-自由、いのちの御霊の律法-解放、みことば成就について行くこと 3) 過越祭(永遠の救い)、五旬節(永遠の神様の力)、仮庵祭(永遠の御座の背景)を祈りで味わう時から簡単に世界福音化の門が開かれて、みことば成就の中になるようになる。 2. 世の中(荒野)を変える神様のやぐら、旅程、道しるべを刻印させなさい。 1) 10 の奇跡で起きた過越祭の働き、荒野の奇跡で現れた旅程、御座の背景で起きた奇跡を皆さんのことにしなさい。 2) イエス様が完成して結論を出された御座のやぐら、旅程、道しるべを体験 3) 荒野で困難と答えを見せた二つの理由 (1) 世の中を生かす信仰を持たせようと (2) 暗闇をふるえおののくようにさせようと 3. 次世代と未来を生かす見張り人の契約 1) 出エジプトにあった証拠を伝えなさい(申 6:4-9) 2) 荒野で与えられたことを伝えなさい-契約の箱の中に入っていること 3) カナンに入国した証拠を話してあげなさい。 □結論_証拠 1. 無力な初代教会が世界福音化-世界を動かすやぐら、旅程、道しるべが作られた 2. 御座のやぐら、旅程、道しるべを味わう祈りが幸せになれば、やぐらが建って癒やされ始め、力になれば世界福音化が始まる 3. 苦難、霊的問題、落胆-御座のやぐらを作って(過越祭)、御座の旅程(五旬節)を行い、御座の道しるべ(仮庵祭)を建てる最も良い時間 △何によって幸せなのか。それで人生が終わる。朝と夜にこれで力を得れば屋のことが違って見える。	神様のみことばは理解するのが難しい部分が多い。重要なことは、ほとんどみなそうだ。 アダムが罪を犯した後に、どこにいるのかと尋ねられた後に、女の子孫が蛇の頭を打つと言われた。これを握りなさいということだ。神様を離れてわざわざいの中でいる時は、どんなことも方法にならない。わたしがあなたに示す地に行きなさい。話にならないのに、それが話になる。私とみことばが合わない時は、私を変えなければならない。 荒野で最も難しいことを話されたが、それが祝福だ。神様は祝福ではないことは与えられない。 □序論_幕屋を作りなさい。^{命令} 1. 荒野の道を通り過ぎているが命令された。 2. 神殿再建からしなさいということだ。 3. 迫害を受けてみなふさがってしまった初代教会-世界へ行きなさい。あらゆる国の人々、万民、地の果て ^{まことの人生の道} ^{至聖所(天の祝福)} ^{聖所(地の祝福)} ^{条件} ^{喜びの心でしなさい。詳細なことを指示。エジプトから持ってきた} ^{すべてを出しなさい}(2-8 節) △それが荒野で必要なのか。欲だ。それで幕屋を作りなさい。 □本論_運命、荒野、未来を変える三つの祭りを常に味わう成就の場所が必要 1. 出暗闇やぐら-暗闇を完全に崩すやぐらを建てなさい。 1) 幕屋中心(24) 2) 会見の天幕中心(礼拝)に行きなさい。 3) 天幕中心(方向) -家の方向を幕屋側に向けなさい。 △エジプトと荒野で死ぬべきだった私たちがここまで来たのだ。カナンの地で世界福音化を回復する契約を持って行くのだ。 2. まことの力を与えるということ 1) 出エジプト(刻印) -出エジプトの奇跡を子孫代々に伝えなければならないので、幕屋中心に刻印させなさい。 2) 荒野(根) -荒野の道で多くのことに会うとき、神様の力が根をおろす。24 すべての民のために、ともしびをつけなさい。 3) 征服(体質) -カナン征服のための体質を備える所が幕屋 3. まことの答え 1) 御座-契約の箱 この答えでなければほかの人を生かすことはできない。 2) ともしび 3) パン 4) 油-すべての器具に塗りなさい 5) 洗盤 □結論 1. 神殿 1) 私が見るべき三つの庭 2) 御座の祝福を成し遂げる金土日 3) 黙想時代 2. ^{7・7 7} ^{幸せ、力}-レムナントがこの力を受けるようにさせるのが基準 3. ^{主人(基準)}が変わったこと-「私」という基準がなくなったこと 1) ^{使 2:1-47} ^{別の人になったこと} 2) ^{使 19:8} ^{大胆に神の国のことを論じたパウロ} 3) ^{Ⅱコリ 12:1-10} ^{私が弱いそのとき、神様の力が私に臨む。} △神様が私の主人になられること以外には、必要がないほど働きが起こるべき